

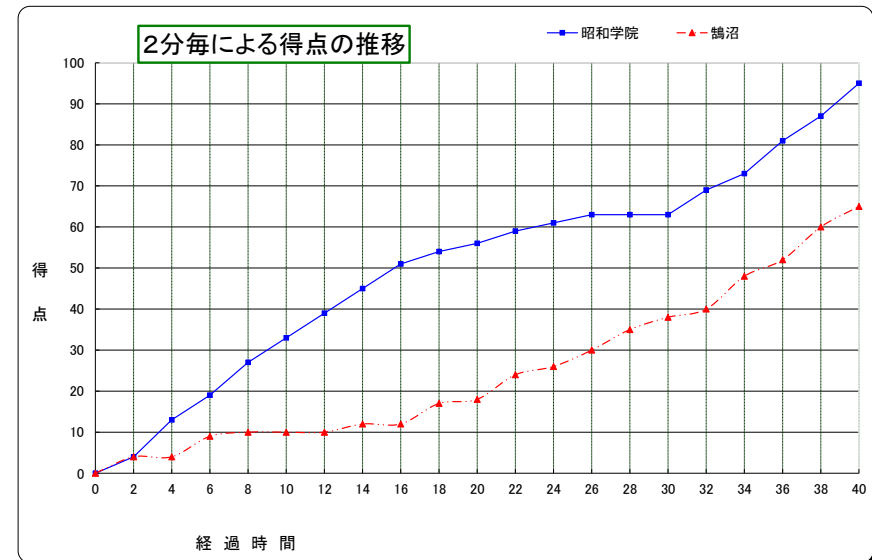
# 令和5年度 第34回関東高等学校 バスケットボール新人大会

令和6年2月3日(土)  
カミケンシルドーム  
準々決勝

チームA <b>昭和学院 (千葉)</b>	<b>95</b>	{	<b>33</b> 1st <b>10</b> <b>23</b> 2nd <b>8</b> <b>7</b> 3rd <b>20</b> <b>32</b> 4th <b>27</b>	}	<b>65</b>	チームB <b>鶴沼 (神奈川)</b>
------------------------------	-----------	---	--	---	-----------	-----------------------------

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	月松 蒼	24	2	5	9	14			2	3	4	1			1
5	前田 珠涼	10	0	2	4	7	2	2	2		3	1		1	
6	辻 菜々子	5	1	1	1	2			1	3	2				4
7	石井 杏奈	12			5	5	2	2		3	3	2	1		
8	山下 笑侖奈	8			4	6			2	2	3			4	1
9	藤松 柚乃	6	0	1	3	6			3	1	4	1	2		1
10	長谷部 こころ	0													
11	小崎 心花	6			3	7			1		6				
12	壽原 理彩	2					2	2			1				
13	大沼 華奈	8	2	4	1	1			2	1	1				2
14	赤尾 さやか	5			2	2	1	1			2	1			1
15	濱松 あかり	0			0	1								1	
16	藤原 花菜	5	1	3	1	5			5	1	1				3
17	佐野 夢佳	4	1	1	0	3	1	2	2	1	1	1			1
18	嶋田 百花	0			0	2				1	1				1
コーチ	鈴木 親光														
		95	7	17	33	61	8	9	20	13	32	10	3	6	15
		確率	41.2%		54.1%		88.9%			計 45					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	青木 七彩	10	0	3	3	9	4	6	5	5	3				
5	小石川 凜	5	1	6			2	2	4		1	1			
6	竹部 心羽	0													
7	鈴木 葉奈	7	1	3	2	15				2	2	1	2		5
8	竹内 なつ	27	0	2	10	15	7	9			5	4		1	5
9	浅沼 はな	0							1	1					1
10	恵 悠衣	0	0	1	0	2			2		1				
11	三浦 仁胡	12	1	3	3	7	3	4	2	4	6	1	1	1	1
12	立川 美唯菜	0													
13	阿部 小雪	0													
14	榎 菜理	0													
15	古田 育愛	0													
16	廣瀬 優菜	0													
17	大矢 夏音	4	0	2	2	8			3	1	3	4			3
18	吉澤 凜	0													
コーチ	細木 美和子														
		65	3	20	20	56	16	21	17	13	21	11	3	2	15
		確率	15.0%		35.7%		76.2%			計 34					



## 戦評

第1Q 両チーム共にハーフコートマンツーマンでスタート。ゲーム序盤、鶴沼は得意のバックカットから得点を奪う。一方の昭和学院は速い展開から#5のペイントアタック、#4の3P、そして#7、8のハイローなど多彩な攻めで加点しリズムを掴む。鶴沼も#7の3Pや#4のドライブインでつなぐが、昭和学院の流れは変わらず、33-10昭和学院リードで終了。

第2Q 鶴沼は合わせからのシュートや3Pなどで果敢に攻めるがシュートが入らない。その間、昭和学院は#4の正確無比なプレイを起点に得点を伸ばす。残り7分、鶴沼は2回目のタイムアウトをとる。タイムアウト後、#8が積極的なアタックを仕掛け得点するが、昭和学院の堅い守りをチームで崩すには至らず、56-18で昭和学院のリードで前半を終える。

第3Q 巻き返したい鶴沼は#8#4#17のドライブや#7のポストプレイなどで点差を縮める。ディフェンスやリバウンド・ルーズボールでも執着心を見せ、昭和学院に簡単にスコアさせない。昭和学院の交代で入った選手たちのミスが目立つ中、鶴沼は#11のジャンプシュートや#8のバスケットカウントなどで更に加点し追い上げをみせる。第3Qだけの点数では20-7と鶴沼が意地を示し、最終第4Qを迎える。

第4Q スタートメンバーに戻した昭和学院は強固なディフェンスからのファストブレイクで全員がよく走り、#5#9がシュートを決める。一方の鶴沼もあきらめない姿勢を見せる。特に#8は気持ちのこもった4本のバスケットカウントプレイなどでチームを牽引する。昭和学院も#13#16#17の3Pで応戦し、最終スコア95-65で勝利を収めた。

鶴沼も健闘したが、昭和学院の基本に忠実かつ洗練されたプレイが光る試合であった。

Ref	塩見 大介	1st U	慶野 芽以	2nd U	増子 友紀
-----	-------	-------	-------	-------	-------